



2024. 11. 15. №1450
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
<http://www.sogyoren.jf-net.ne.jp/>

1. 清水漁協薩川組合長が受賞！ — 令和6年度静岡県農林水産業功労者表彰 —

静岡県と農林水産業の関係団体で組織する静岡県農林水産業振興会（会長：鈴木県知事）は、11月5日静岡県庁西館会議室において令和6年度静岡県農林水産業功労者表彰式を行い、個人の部の受賞者30人に表彰状が授与されました。

水産業部門3人の受賞者のうち漁協系統関係者では、薩川一義氏＜清水漁協代表理事組合長＞が、多年しらす船びき網漁業に従事し、地域漁業の振興発展に寄与するとともに、清水漁業協同組合の要職にあつて、組合運営を通じて組織基盤の強化と事業の発展に貢献した功績が認められ受賞されました。

ここに薩川様に心よりお喜び申し上げ、今後一層のご活躍をお祈りいたします。

2. 第73回全国漁港漁場大会を東京都で開催 — (公社)全国漁港漁場協会主催 —

10月24日に東京都の東京国際フォーラムにおいて、第73回全国漁港漁場大会が開催され、全国から関係者約1,300人が参加しました。

大会では、公益社団法人全国漁港漁場協会の高吉普吾会長が主催者挨拶で「地球規模の環境変化による漁獲減や、災害の激甚化、漁村人口の減少・高齢化といった難しい問題を克服し、水産業・漁村の持続的発展を図っていかねばならない。」とあいさつし、関連施策を実行していく重要性を訴えました。

その後、舞立農林水産大臣政務官、滝波参議院農水委員長など来賓が祝辞を述べました。

議事に入り、議長に佐藤政俊福岡県漁港漁場協会長（福岡県漁連代表理事長）を選出。付議議案として提出された「令和7年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件」に対する提言案として、①漁港機能の再編・強化と養殖拠点の形成による水産業の成長産業化、②海洋環境の変化に対応した漁場整備や藻場の保全による生産力の強化、③漁港・漁村・海岸の強靱化と長寿命化による安全・安心の確保、④海業の全国展開の推進による水産業と漁村の持続的な発展、という4項目を掲げ満場一致で採択されました。

なお、来年の第74回大会は令和7年10月に山口県下関市で開催予定となっています。

3. セーフティーネット構築事業第2四半期補填判定結果 — 燃油・飼料とも補填発動 —

令和6年度セーフティーネット構築事業の第2四半期（7～9月）補填判定結果が漁業用燃油で10月16日に、養殖用配合飼料で11月1日に一般社団法人漁業経営安定化推進協会から

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

発表されました。

漁業用燃油では円安やロシア・ウクライナ情勢や中東情勢の影響を受け原油価格の高騰が続いており、第2四半期の平均原油価格が73,723.3円/kgとなり、直近の7中5平均原油価格53,392.0円/kgを大幅に上回ったことから、現在経済産業省が実施している燃料油価格激変緩和事業の助成相当額を調整し、実質補填単価15,900円/kgで補填の発動が確定し、15四半期連続での補填発動となりました。

養殖用配合飼料でも漁業用燃油と同様に、配合飼料の原料となる小麦の価格が円安やロシア・ウクライナ情勢により高騰していることから、第2四半期の平均配合飼料価格が250,568.6円/トンだったのに対し、補填金の発動ラインとなる7中5平均配合飼料価格が193,385.3円/トンだったため、過去最高額の57,180円/トンを補填単価として補填の発動が決定し、11期連続の補填発動となりました。

今後も燃油・配合飼料とも高値で推移していくことが予想されるため、来年度以降本事業への加入を検討されている漁業者・養殖業者の方は、所属の漁協へご相談下さい。なお、本事業は年度途中の加入が出来ないため、加入出来るのは来年4月以降となりますので、あらかじめご了承下さい。（申込は3月末まで）

4. 桜えび秋漁初水揚げ！ — 由比港・大井川港合わせて約2.3トンの水揚げ —

11月4日夕方に2024年度桜えび秋漁が初出漁し、安倍川～大井川沖を中心に操業した結果、由比港・大井川港に合わせて153.7杯（約2.3トン）が水揚げされました。

5日早朝に行われた初競りでの平均単価（速報値）は由比港で約5,037円/kg、大井川港で約4,689円/kgで、全体では4,896円/kgとなりました。今年の秋漁は12月25日までの操業予定となっています。

5. 本会 人事異動のお知らせ

本会では、次のとおり職員の人事異動を発令しました。（カッコ内は旧役職）

◇退職 10月31日付

▽温水利用研究センター所長 鈴木吉典 ▽焼津事業所 岸元瞭

◇異動 11月1日付

▽温水利用研究センター所長 佐竹頭一（温水利用研究センター沼津分場長） ▽温水利用研究センター沼津分場長 石神一雄（温水利用研究センター所長代理）

◇新規採用 11月1日付

▽温水利用研究センター＜嘱託＞ 鈴木吉典

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう